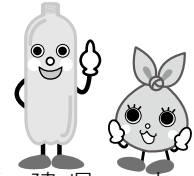


飛騨市の エコだより 第68回 「蛍光管、 乾電池の行方」



市では、蛍光管と乾電池の分別収集を行っています。

分別収集された蛍光管と乾電池は市内の保管施設でしばらくの間保管し、まとまった量になったところで、リサイクル業者へ引き渡しています。

■蛍光管のリサイクル

蛍光管には有害物質の水銀が含まれています。そのまま処分すると、まわりの環境や人が汚染されるため、特別な処理で水銀を取り除く必要があります。

市で収集された蛍光管は、大阪市にある工場に運ばれ破砕されます。水銀部分が取り除かれ、口金などアルミ製部分はアルミ原料に、ガラス部分は蛍光管の材料や住宅用の断熱材、セメント原料などにリサイクルされます。取り除かれた水銀部分はさらに北海道へ運ばれ水銀試薬などにリサイクルされています。

■乾電池のリサイクル

乾電池は金属類へリサイクルするのに適しています。市で収集された乾電池は、岡山県にある工場へ運ばれ、ビル等の建物を支える鉄筋棒や亜鉛原料にリサイクルされています。

■出し方の注意

▽割れた蛍光管も水銀が含まれているので注意が必要です。ビニール袋などにまとめて蛍光管に分別して出してください。

▽水銀体温計にも水銀が含まれています。蛍光管に分別して出してください。

▽LED製品は蛍光管に該当しませんので、家電小物として出してください。

▽市で収集している電池はアルカリ乾電池とマンガン乾電池です。リチウムイオンバッテリーは劣化すると発火や破裂をするものもあります。販売店などへの引き渡しをお願いします。



問 環境課 ☎ 0577-73-7482

みんなで活かして
楽しい毎日!

飛騨の薬草を学ぶ 教養講座

薬酒

立春を過ぎ、本格的な春もすぐそこまで来ています。

これからさまざま薬草が育ちますが、それらを活用する一つの方法として今回は薬酒について紹介します。

適度に飲めば「百薬の長」。お酒は元来、薬用を目的とされてきました。

お酒（アルコール）に薬草の有効成分を浸出させた薬酒は、薬草とアルコールの相乗効果で、即効性より高い効果が期待できます。

自分に合う薬草、また、飲み方を守って、薬酒から最大限の効果をいただきたいものです。

薬酒の材料を焼酎かブランデー、またはウイスキーに漬けます。新鮮な材料の場合、水洗いをしてよく水気を切ってください。

アルコールの量は、生葉のような生ものなら材料の2倍、生薬のように乾燥しているものなら材料の3〜4倍を使います。

保存期間が長いほど薬草の有効成分は浸出していきますが、生の材料の場合、軟らかいもので約1カ月、堅いものなら約3カ月で飲めるようになります。

できれば半年から1年以上置きましょう。保存期間が長い方が味わいは豊かなものになります。

出来上がった薬酒は1日1〜2回、さかずき1杯程度を毎日服用します。

数種類の薬酒を混ぜることで、効果は一層上がり、また飲みやすくすることもできます。

作成した薬酒の瓶には仕込んだ日、薬酒名を記入しておく、分かりやすくして便利ですね。

春からいろいろと試してみませんか。
（参考文献）村上光太郎著「薬草療法ハンドブック」



問 企画課 ☎ 0577-73-6558